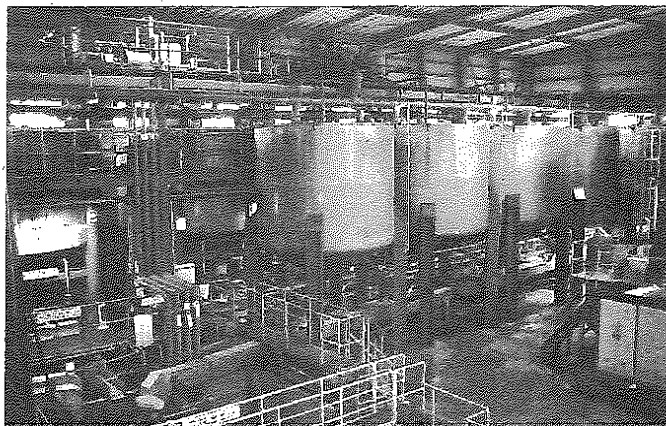


欧向け納期大幅短縮

アルギン酸 キミカ、独・蘭に拠点

【千葉】キミカ（東京都中央区、笠原文善社長、03・3548・1941）は、食品・医薬品向けアルギン酸の注文を受けてから欧州の企業に納品するまでの期間を大幅に短縮する。日本から発送する場合、1週間と従来の2カ月から8分の1になる。ドイツに販売子会社を設立すると同時に、オランダで在庫を確保することで実現する。欧州市場の本格的な開拓などで、2020年12月期に連結売上高100億円（17年12月期は94億円）を目指す。

キミカは全額出資で330万円）で、社長ドイツのデュッセルドルフにキミカヨーロッパを設立した。資本金は2万5000円（約注業務、在庫管理を担



アルギン酸を生産する千葉プラント（千葉県富津市）

を設けて在庫を確保する。千葉県富津市やチリで生産したアルギン酸を供給していく。千葉では各ユーザーの用途にきめ細かく対応した製品を、チリでは大口ロットの製品をそれぞれ生産

う。一方、オランダのロツテルダムに物流倉庫

する。

デュッセルドルフは日本企業が多いほか、欧州各国へのアクセスに優れ、キミカヨーロッパからオランダの物流倉庫へは車で約2時間で移動できる。これらの地の利や、それぞれの機能を組み合わせ、発注から納品までの期間を短縮する。

高品質な商品を迅速に供給することで、欧州市場で競合他社との差別化を図る。アルギン酸はコンブやワカメなどに含まれる多糖類で、海草から抽出・精製して生産する。食品・医薬品・化粧品・繊維加工など幅広い用途で活用されている。